高梁川流域ゆかりの けんじん とくしゅう



活躍した年:

1864~1934年



活躍した分野:



ゆかりのある場所:

・高梁基督協会





とめおかこうすけ げんじがん ねん たかはしししんまち う 留岡幸助は、元治元(1864)年、高梁市新町で生まれました。

ぎょうしょうちゅう の ご みなみまち こめや いとな よしだけ ようし たにがわ みず げんいん その後、南町で米屋を営む吉田家の養子となりましたが、行商中に飲んだ谷川の水が原因 はい びょうき ちりょう ちゅうげんまち いし きょうしんじゃ あかぎそへい で肺ジストマという病気になり、治療のため、中間町の医師でキリスト教信者の赤木蘇平の あかぎいし ひと えいきょう う きょうしんじゃ 家で生活しました。このとき、赤木医師の人がらに影響を受け、キリスト教信者となり、明 きょうかい せんれい う ねん たかはし 治15(1882)年、高梁キリスト教会で洗礼を受けました。

で どうししゃだいがく にゅうがく そつぎょうで ひょうでけんふくちゃま きょうかい ぼくし その後、同志社大学に入学し、卒業後は兵庫県福知山で教会の牧師となりました。

めいじ ねん ほっかいどうくうちしゅうじかん げんざい けいむしょ きょうかいし かんが おし明治24(1891)年に、北海道空知集治監(現在の刑務所)で教誨師(よい考えを教 きょういく ひつよう ふりょうしょうねん よ ひと た なお 付き、不良少年と呼ばれる人たちを立ち直らせるための教育が必要であると強く感じました。 けいむしょせいど けんきゅう あと はんざい ふりょうこうい

その後、アメリカで刑務所制度を研究した後、犯罪などの不良行為をしたり、するおそれ じどう かていかんきょうなど せいかつしどう よう じどう にゅうしょ つうしょ

がある児童や、家庭環境等から生活指導を要する児童を入所または通所させ、自立を支援す かていがっこう とうきょう

る施設である「家庭学校」を東京につくりました。

しょうがい しょうねんかんか かんごくかいりょう きょうかじぎょう しゃかいじぎょう はってん っ おかやまよんせいじん生涯にわたり、少年感化、監獄改良、教化事業、社会事業の発展に尽くした「岡山四聖人」 ゆうめい の一人として有名です。